

美浦村立美浦小学校開校に関する説明会での主なご意見・ご質問と回答

美浦村立美浦小学校開校に関する説明会でいただきましたご意見・ご質問について、まとめたものを公開いたします。説明会では、たくさんの貴重なご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえ、当初の案から一部変更いたしました。

特に、別紙2「美浦村スクールバス利用マニュアル（案）（R6.10.23時点）」の5.スクールバス利用に関する保護者へのお願い（2）スクールバス利用についての注意事項④及び⑤に記載されている『調整委員』の役割等について、変更点がございます。

当初は、「調整委員が、当日バスを利用しない場合、運転手にその旨を伝達する役割」を検討しておりましたが、ご意見を参考に、④及び⑤の記述を削除・修正いたしました。今後は、年一回の会議への参加と、停留所利用者への連絡調整にご協力いただくことといたします。

調整委員の具体的な役割については、別紙2「美浦村スクールバス利用マニュアル（案）（R6.11.8時点）」をご参照ください。

1日目（10月23日）

Q 1	1.5km以内に在住しているため、スクールバスの利用対象となっていないのですが、利用を希望する場合は、11月にスクールバス利用許可申請書を提出しても大丈夫ですか？
A	1.5km以内にお住まいの方もご希望であればバスは利用できますので、ご利用希望のバス停等を記載して申請書を提出してください。

Q 2	現在は各地区で登校班を組んで、学校まで歩いて行っている状況だと思いますが、バス停まではどのようにして行けばよいのでしょうか。
A	現在も登校班が各地区にあると思いますので、登校班でバス停に行くイメージで考えています。登校班が組めない場合は、各家庭の判断でバス停をご利用いただければと思います。

Q 3	今現在のバスルートは案だと思いますが、バス停から次のバス停までの距離が離れている場合、中間地点にバス停の設置の希望を出すことは可能でしょうか。
A	居住エリアの交通状況等をシミュレーションして、ルートとバス停を選定したところでございますので、現時点ではバス停の新設は検討しておりません。ただし、次年度以降においては利用・運用の状況によりバスルート及びバス停の場所の見直し検討を行います。

Q 4	その日バスに乗らない児童がいた場合は、調整委員は運転手に直接連絡するのでしょうか。
A	ご意見を踏まえ、方針変更いたしました。詳しくは、別紙2「美浦村スクールバス利用マニュアル（案）（R6.11.8時点）」をご参照ください。

Q 5	下校時にバス停で降りることが出来なかった児童は、そのまま学校に行き、保護者が迎えに行くようになっていますが、もし保護者がすぐに迎えに行けなかった場合、学校はどのぐらいの間預かってくれるのか、また、待機場所等決まっていたら教えていただきたいです。
A	現時点で学校の待機場所、待機可能時間について、学校と調整を図っているところです。

Q 6	スクールバス利用マニュアル中の注意事項③について、児童が乗り遅れた旨を～というのは具体的にどういう場合を想定しているのか教えていただきたいです。
A	下校時は、バスまで教職員等が誘導いたしますが、例えばその際にトイレに行っていて乗り遅れてしまう等のケースを想定しております。

Q 7	バス停までの道中でトラブル等が発生し、バス停への到着が遅れバスに乗れなかった場合、乗降管理システムからのメールがこないことで初めて児童がバス停に取り残されていることを知るという状況になると思うのですが、そのあたりはどうお考えでしょうか。
A	スクールバス乗降管理システムは、バスの乗降を行ったかどうかを保護者にご連絡するものですので、バスに乗るまでは、原則保護者の方の管理でお願いいたします。また、乗降する時間は過ぎてるのにメールが来ない場合の対応については、各ご家庭、保護者の方で確認していただきたいと考えております。学校や教育委員会にも随時情報共有されますので、様々な面で児童の安全を守っていきたいと考えております。

Q 8	スクールバス利用マニュアル中の注意事項について、同じバス停を利用する児童の名簿を作成します～の部分で、調整委員を選出すると思うのですが、これはバス停に集まる人たちに名簿を出してもらって、そこで話して決めるのか、また、期間についてはどうするのかなどの具体的な調整委員の仕組みについて教えていただきたいです。
A	調整委員の選出につきましては、バス停ごとに決定していただいて構いません。 (例) 1週間ごとに交代する、1年間同じ人が活動する 等 ⇒ご意見を踏まえ、方針変更いたしました。調整委員の活動期間は、原則1年間とさせていただきます。具体的な役割については、別紙2「美浦村スクールバス利用マニュアル(案)(R6.11.8時点)」をご参照ください。

Q 9	スクールバス利用マニュアル中の注意事項⑰、⑱について、席に座る順番や、シートベルト着用の確認は全て児童任せになるということでしょうか。誰か確認する方はいるのでしょうか。
A	運行のスケジュールに支障が出る恐れがありますので、運転手の方には、基本的にシートベルト着用の確認等については、促してもらう程度で考えております。シートベルトの着用については、ご家庭でも、ご指導をお願いします。(席に座る順番などについては、今年度中に整理してお示しする予定です。)

Q 10	調整委員の件について、バスに乗らない児童が出た場合、調整委員が運転手に伝えるということですが、まず仕事等により時間帯的な問題で難しいのではないかと思います。さらに、大勢の児童が利用するバス停では、調整委員の負担がかなり大きいと思います。 利用マニュアルには、利用しない場合は7時までに調整委員に保護者が連絡するという事になってるので、7時までにメールや電話など、何かしらの方法で運転手さんに伝達し、直接バス停に行かなくても済む連絡方法を考えていただきたいと思います。
A	⇒ご意見を踏まえ、方針変更いたしました。詳しくは、別紙2「美浦村スクールバス利用マニュアル(案)(R6.11.8時点)」をご参照ください。

Q 11	帰りのバスを降りる際、乗り過ごした場合に、学校に送るということなんですけれども、恐らく低学年の児童たちはバスに乗ったら寝てしまう子がいると思うので、バスの運転手さんはバス停でどの児童が降りるのかを把握しながら、声かけなどはしていただけるのでしょうか。
A	バスの運転手は、お声がけなどは基本はしないという前提で考えていただければと思います。スクールバス乗降管理システムからメールが来ないということで保護者の方が確認していただければと思います。 また、乗り過ごしてしまった児童は学校まで送り届けます。その後、学校からご連絡がくるかと思うので、保護者の方がお迎えをお願いします。

Q 1 2	保育所でも置き去り事件が話題になっているかと思いますが、小学生といえども、自分のことを自分でやるということは低学年には特に難しいと思います。運転手は運転に集中して、後ろのことまで気を配り切れないと思いますので、小学校の先生が1人引率で乗っていただくことはできないのでしょうか。
A	登下校は、教職員の業務範囲外となりますので、スクールバスに小学校の先生が乗るということは原則できません。 一方、導入を予定しております乗降管理システムは、バスの乗降の際、児童がコードをスキャンし、その情報が保護者等のもとへ通知がいくようなシステムとなっており、通知が届かない場合は、保護者、教育委員会及び学校に情報共有されるため、置き去りなどは防げると考えております。また、運行後はバス運転手が車内点検を実施するなどして、置き去り防止のための対応策を検討してまいります。

2日目（10月24日）

Q 1 3	スクールバスのバス停の場所には、バス停とわかるようなものを掲げたりするのでしょうか。
A	バス停には、バス停標識を設置する予定です。

Q 1 4	下校時刻が学年ごとに違う現状で、帰りのバスと児童クラブ行きのバスはどのように運行するのでしょうか。
A	バスの運行計画については、児童クラブやバスを利用する児童数により決定します。また、学年によって下校時間が変わりますので、バスの運行方法については、それに合わせて運行できるよう計画していきます。

Q 1 5	自宅近くのバス停で乗るといって説明がありましたが、家の近くとなると、11号車の大山・見晴ルートとなり、トレセン入口から乗る形になってしまいます。 大谷ルートの方に組み込んでいただかないと、中型バスでは安中方面の児童が乗り切れない可能性も出てくるかと思いますが、バスルートの変更は考えておりますでしょうか。
A	今後の利用申請の状況によっては、若干のルート変更の可能性はありますが、ご家庭の事情によりバス停を選ぶことは可能ですので、利用しやすいルートで申し込みをしていただければと思います。

Q 1 6	現在大谷小でバス通学しており、バスに添乗員さんが同乗してくださっていますが、低学年の児童は自分でシートベルトをしたり、大きな荷物や手提げなどを持っていたりすると、重くて1人でやりきれない部分があると思います。そういうとき子供も不安だと思ったり、親としても不安なので、厳しいとは思いますが、添乗員さんをつけてくださるとありがたいと思います。 保護者としては安心すると思うのですが、ご検討いただけますでしょうか。
A	申し訳ありませんが、現状、添乗員を同乗させることは難しいと考えております。一方で年度当初、児童がスクールバスに慣れるまでの一定期間について、教育委員会の職員等が同乗し、スクールバスの安全確保を図ってまいりたいと考えております。

Q 1 7	添乗員が見つからないとのことでしたが、運行中に児童の体調が急変したり、そのようなトラブルがあった場合、やはり添乗員がいないことは不安要素だと思います。そういったリスクについて、お考えではなかったでしょうか。
A	添乗員の設置というのは、難しい状況です。しかし、車内でのトラブル等が発生した場合の対応につきまして、緊急時における運転手の対応に関する指導等を行うなど、安全確保の検討をしております。

Q 1 8	美駒ルートについて、2便で運行するというのですが、どちらの便になるかはどのようにして決定される予定なのでしょうか。 また、利用する便は、年間を通して同じ便となるのでしょうか。時刻表を見ると、1便の場合は朝が早い時間となったり、特に不慣れな新1年生については不安だと思しますので、家庭の事情などの融通や希望を受け付けていただけたらと思うのですが、そのあたりどのようにお考えでしょうか。
A	利用する便については、基本的に住所エリアで区切ることを考えております。また、利用する便の順序変更については、偏りが大きくなるよう検討します。なお、家庭の事情に合わせて利用する便を個別に選択できるような仕組みは現段階では検討しておりません。

Q 1 9	利用者が一人だけのバス停では、バスを利用しない場合は誰に連絡すればいいのでしょうか。
A	⇒ご意見を踏まえ、方針変更いたしました。詳しくは、別紙2「美浦村スクールバス利用マニュアル（案）（R6.11.8時点）」をご参照ください。

Q 2 0	居住区が1.5km以内にあるので、徒歩通学になるのですが、中学生の自転車と小学生の徒歩が同じ時間帯に、同じ歩道で行われるってということに対して、不安があります。通学マニュアルを後日配布していただけるとのことでしたが、そのことに関しても同じ時間帯に自転車と徒歩が混在することに対する対策を取られるという認識でよろしいでしょうか。
A	現在の各小学校でも中学生と通学路が同一であるところがありますが、美浦小学校においても小学生と中学生を厳密に区分けすることは難しいと思われます。 そのため、中学生へ、登下校中の小学生への配慮に関する指導を行うなどして、登下校の安全確保を図ってまいりたいと考えております。

Q 2 1	商工会の前の道路について、歩道の幅が細い場所が何ヶ所かありまして、現状、中学生乗る自転車多く並ぶことがあります。仮に小学生が歩いていたとして、自転車側は追い越せないと渋滞にもなり、追い越そうとしても、接触をしてけがをする危険性もあります。そのようなことを考慮していただいた上で、またマニュアルを作成していただければと思います。
A	ご意見を考慮させていただきまして、運用やルールの方については、検討していきたいと思えます。

Q 2 2	美駒ルートについて、停留所がとびあ前駐車場の1ヶ所となっておりますが、世帯数と児童数が多いために、雨の日などは特に大変混雑することが予想されるかと思います。とびあ駐車場では工事車両が出入りしていたり、保護者の方が送り迎えする場合などを考えると、そこへずっと子供たちを待たせて、バスに乗車させるのは不安に感じます。 例えば、幼稚園バスのように、停留所を分けて、児童を拾っていくような形にすることで乗降管理システムというのも有効に利活用されていくのではないのかと思いますが、いかがでしょうか。
A	⇒改めてJRA美浦トレーニング・センター及びバス運行会社と協議を行い、停留所の位置は、「とびあ前駐車場」から「とびあ前」に変更となりました。位置図等につきましては、別途配布いたします案内をご確認ください。（大谷小学校区児童へ配布予定）

Q 2 3	バスには大体何人ぐらい乗れるのでしょうか。 現在旗当番をしているのですが、児童数が多く、バスに乗り降りするときは入口が一つですので、大勢の児童が1ヶ所でバスの乗り降りをする部分が心配です。 例えば、時間少しずらして人数を分けたりなど、そういった対応をしていただきたいです。
A	大型バスは49名程度乗車が可能（正しくは、補助席なしで「45名」乗車可能。）となっております。利用調査では、90名ほど児童が利用するような想定ですので、大型バス1台による2便制で運行する予定です。

Q 2 4	小学性と中学生を同時に車で送迎する場合は、1ヶ所で下ろしていいのでしょうか。それとも2ヶ所どこか別々の場所で下ろす必要があるのでしょうか。
A	現在、学校近隣へ送迎用駐車スペースを造成する計画でおりますので、そちらに小学生、中学生ともにおろしていただくということで検討しております。

3日目（10月25日）

Q 2 5	スクールバスの利用について、半径1.5km以内に住んでいる場合は、希望すればスクールバスを利用できるというお話を伺いましたが、希望しない場合は、従来通り登校班を組んでの登校になるのでしょうか。 また、徒歩で登下校する児童達の安全確保については、これからどれぐらいの期間でできるのか、11月までに取りまとめていただけるのかという部分について教えていただけるとありがたいです。
A	従来どおり登校班での登校となると考えております。 また、美浦小学校周辺の道路状況等の安全管理の面につきましても、着手している部分もありますが、できる限り年度内に整備できる部分については、整備できるよう準備を進めているところでございます。
Q 2 5 (2)	徒歩で登校する可能性があるが、徒歩通学に不安が残る場合は、一旦はバス利用の申請をしないといけないということでしょうか。 現段階では具体的に示せないということは、徒歩通学における安全面について保護者が納得できない形である程度進んでしまうということだと思いますので、スクールバス利用申請を出してから、完成したマニュアルを見て、これだったら歩いて行かせることができると判断できた時点で徒歩通学に変更してもいいという認識でよろしいのでしょうか。
A	通学路の安全対策は順次進めておりますが、バスの利用申請については、各家庭のご判断で選択していただければと思います。

Q 2 6	スクールバス利用マニュアル内注意事項⑪について、自宅とバス停までの間や、バス停での乗降の際は保護者が安全確保に努めることを基本としますが、保護者が付き添わないと利用ができないということでしょうか。
A	付き添わなければ利用できないということはありません。 状況に応じて保護者のご判断で、付き添いを行っていただければと考えております。現在も、小学校に登校班を組み、歩いて通ってるとしますので、基本的にはバス停までの移動は、それと同様でいいのではないかと考えております。

Q 2 7	児童館の利用について、現段階では来年度の何曜日に利用するかまでは決まっていないのですが、どのように申請すればいいでしょうか。
A	児童館利用見込みの想定でスクールバスの利用申請をしていただければと思います。

Q 2 8	学校にバスが到着してから、児童を誘導してくださる方はいらっしゃるのでしょうか。また、下校時のバス停の到着時間は、決定した際には教えていただけるのでしょうか。
A	登校時にバスが学校に到着したときの誘導については、教職員が対応することを計画しております。下校の際のバス到着時刻については決定次第お知らせいたします。

Q 2 9	学校に児童が登校した際、何台もバスが来て、大勢の児童が一カ所に集結するかと思います。そこにまた別ルートのバスがくると想像すると、危険なのではないかと思いました。先生の数も少なく、皆さん初めてのことかと思えますので、パニックになるのではないかと思います。そのあたりについては、なにか対応策など考えていらっしゃるのでしょうか。
A	バスの到着時刻については、集中しないようなスケジューリングを計画しております。 また、バスロータリーについては、停留所のような作りになっており、児童がバスが降りた際、安全に移動できるような動線を確保し、スムーズに登校できるよう設計しております。

Q 3 1	児童クラブの一時利用を行う場合、下校時、降車場所が変わると思うのですが、それは学校に申し出れば良いという考えでよろしいのでしょうか。
A	⇒児童クラブの臨時利用を行っていただく際には、児童館及び学校へのご連絡をお願いいたします。

Q 3 2	スクールバスのバス停調整委員の必要性について教えてください。
A	⇒ご意見を踏まえ、方針変更いたしました。詳しくは、別紙2「美浦村スクールバス利用マニュアル（案）（R6.11.8時点）」をご参照ください。

Q 3 3	現在、大谷小でのスクールバス利用においても、バス停に調整委員という方がいらっしゃるんですか。
A	現在はありません。 ⇒ご意見を踏まえ、方針変更いたしました。詳しくは、別紙2「美浦村スクールバス利用マニュアル（案）（R6.11.8時点）」をご参照ください。

Q 3 4	調整員に 7 時まで利用しないことを連絡するとして、調整委員さんは運転者にどのように伝達するのでしょうか。
A	⇒ご意見を踏まえ、方針変更いたしました。詳しくは、別紙 2「美浦村スクールバス利用マニュアル（案）（R6.11.8時点）」をご参照ください。

Q 3 5	トレセン入口のセブンイレブン周辺に住んでいる方達は、大谷ルートを利用するというふうに説明を受けたんですが、学校とは逆行して、かなり遠い王府まで行かなければならないんですが、どうしても余郷・土浦宮地ルートを利用することはできないでしょうか。
A	令和 6 年 4 月の利用調査時点での各バス停利用者数を参考に、利用者全員がバスに乗ることが出来るようルート作成しております。 基本的には自宅から最も近いバス停を利用するかと思いますが、各ご家庭の事情に合わせて利用するバス停及びルートを決定してください。